地域資源 × 協働・連携 × 故郷への誇り・愛着
キラキラ・いきいき・まなびらんど・なよろ

令和7年度名寄市社会教育推進計画

名寄市教育委員会

名寄市教育目標

天塩川にはぐくまれた実りある大地に生きる私たち名寄市民は　郷土の歴史と文化を継承し　国際化の時代をしなやかにたくましく生き　ともに支え合い　うるおいと生きがいのある社会の実現をめざしてこの目標を定めます

１　北国の風土に生き　たくましく成長する人をはぐくみます

２　自ら学び　創造的に生きる人をはぐくみます

３　ふれあいを大切にし　心豊かな人をはぐくみます

４　勤労と責任を尊び　よりよい社会を築く人をはぐくみます

５　新しい時代を切り拓き　郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

（制定　平成 19 年４月１日）

令和7年度名寄市社会教育推進計画

令和６年度の本市の社会教育は、つながることをキーワードとして、社会教育施設が連携・協働し、様々な学びの機会や文化芸術に触れる機会を提供してまいりました。

令和７年度は、市民一人一人が、ウェルビーイング（※）を実感でき、将来にわたって住み続けられる「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」に向けた取組をさらに推進し、急速に変化する社会環境の中で、個人の成長と地域コミュニティを支える基盤として、充実した社会教育活動を展開できるよう、４つの重点的な取組を進めてまいります。

※用語解説

【ウェルビーイング】

身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。

短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

1　生涯学習社会の形成

市民が生涯にわたって主体的に学び、心豊かな人生を送ることができるよう、社会教育拠点施設の整備や指導者の育成、学習活動の推進など、生涯学習環境の充実に努めます。

【生涯学習活動の推進と学習への支援】

(1) 社会教育を基盤とする学びを通じ、子どもから高齢者まで、すべての市民が生涯にわたって主体的に学習し、充実した人生を送ることができるよう、生涯学習推進体制の整備に努め、主体的な生涯学習活動を支援します。

(2) 市民への生涯学習機会の提供を推進するにあたり、社会教育施設間の事業連携や情報共有を図り、施設が相互協力できる体制づくりに努めます。

(3) 社会教育主事に求められる役割は年々高まっており、「地域全体の学びの

オーガナイザー（※）」として、社会教育行政及び実践の取組全体をけん引し、地域全体の社会教育振興の中核を担うことが期待されているため、引き続き市民の生涯学習活動の成果を地域課題の解決やまちづくり等につなげていくための社会教育主事を配置するとともに、市民の生涯学習に関する相談体制の充実のため、生涯学習推進アドバイザーを配置します。

(4) 公民館活動については、講師や指導者等の人材を確保し情報提供体制の充実を図るとともに、社会教育施設や関係部局と連携し、市民講座等を開催します。また、特色ある生涯学習活動を推進し、分館活動を含めた多様で身近な学習機会の提供に努めます。

(5) 名寄市公民館、風連公民館については、名寄市民文化センター、ふうれん地域交流センターを活動拠点とし、事業の選択と集中を図りながら持続可能な市民講座の開催内容等の見直しを行い、各種団体と協働した事業を開催します。

　また、風っ子プロジェクト等のまちづくり事業に対する支援や陶芸センターを活用した事業等も行います。

(6) 智恵文公民館については、義務教育学校や地区の各種団体との連携のもと、農村地区という地域の歴史や自然などの特性を踏まえ、世代間交流を図りながら地域資源を継承する生涯学習活動の推進に努めます。

(7) 講座・イベントの周知や様子を広く情報発信するため、ホームページやＳＮＳなど、デジタル媒体による情報発信の充実に努めます。

※用語解説

【地域全体の学びのオーガナイザー】

　様々な主体を結び付け、地域の資源や各主体が有する強みを活かしながら、地域課題「学び」に練り上げ、課題解決に繋げていく人材のこと。

令和7年度の主な事業

〇生涯学習フェスティバル 2025　〇ジャックの豆事業助成金

〇高齢者学級運営事業　〇公民館運営事業

【社会教育施設の機能強化】

(1) 人口・生産年齢人口が減少傾向にあるため、業務効率化の観点から、生涯学習課と風連生涯学習担当を新たに「社会教育課」に組織再編し、機能強化に努めます。

(2) 市民がいつでもどこでも学習することができる生涯学習環境の改善・充実を図るため、将来を見据えた適切な社会教育施設の維持管理及び計画的な整備に努めます。

(3) 社会教育による「学び」を通じて市民の「つながり」や「かかわり」をつくり出し、協力し合える関係づくりを構築するため、学校、家庭、地域等と連携・協力した事業の実施に努めます。

(4) 北国博物館については、地域の歴史・自然・文化を伝える施設機能の向上と何度でも来館したくなるような魅力ある施設運営に努めるとともに、ＳＮＳを活用した情報発信について積極的に取り組みます。

(5) 北国博物館、風連歴史民俗資料館の収蔵機能の整備に向けた検討を進めます。

(6) 図書館については、大学図書館及び学校図書館との連携を図り、読書活動の推進に努めます。

(7) 図書館の改築に向けて、市民の学びや憩いの場として集えるような機能の充実、誰もが安全で快適に利用できる図書館を目指して、検討を進めます。

(8) 天文台については、最先端の観測・研究を行い、その成果を広く公開する機関として、多様な観望会、映像配信、デジタルを活用した企画等を一層充実させ、市民に親しみある天文普及に努めます。

(9) 天文台の協力団体である天文サークル等と連携を図り、天文普及活動を行うとともに、5年後に迫った北海道金環日食に向けた情報発信を行います。

(10) 移動天文台車を利用して近隣地域や東京都杉並区と交流を図るほか、北海道大学や国立天文台・石垣島天文台、他天文台等と連携し、研究観測等の事業を推進します。

令和7年度の主な事業

〇地域の歴史・自然・文化普及活動推進事業

〇読み聞かせ等を通じた読書活動推進事業

〇観望会・映像配信等による天文普及事業

【地域連携・協働による社会教育の推進】

(1) 社会教育を基盤とする学びを通じた「人づくり、つながりづくり、地域づくり」の一端を担うため、地域の各種団体と連携し、社会教育活動を推進します。

(2) 「学校を核とした地域づくり」を進めるため、地域学校協働活動本部を設置し、地域学校協働活動を推進します。

(3) 「地域とともにある学校づくり」の充実が図られるよう、地域学校協働活動等人材バンクの登録と活用の推進に努めます。

(4) 学校の文化部活動の地域移行・地域展開に向けて検討を進めます。

令和7年度の主な事業

〇地域学校協働活動推進事業　〇地域学校協働活動等人材バンク

2 家庭教育の推進

子どもたちの健全育成の基盤である家庭における教育力の向上を図り、家庭の孤立を防ぐため、幼稚園と連携した家庭教育学級の開設や講座の開催など、親子や親同士のコミュニケーションを深める機会の提供に努めます。また、子育てに配慮した環境づくりなどについて企業への啓発に努めます。

【家庭と地域の教育力の向上】

(1) 家庭における教育力を向上させるため、名寄市健康福祉部等の関係機関と連携し、学習機会の提供や子育て中の家庭同士の交流を図ることができるよう、家庭教育支援事業の充実に努めます。

(2) すべての保護者が家庭教育や子育てに関する学習・相談機会を得られるよう、情報提供や相談体制の整備に努めます。

(3) 小中学校（※）・幼稚園・認定こども園を単位とした家庭教育学習の充実を図るとともに、青少年育成関係団体等の地域と連携し、親子ふれあい事業や社会体験の充実に努めます。

(4) 地域全体で家庭や子どもを支え見守る環境をつくるため、地域の大人が積極的に子どもたちと関わることや、企業が参観日への保護者の参加促進に協力するなど、市民への啓発や家庭教育サポート企業の拡大に努めます。

※用語解説

【小中学校】

小中学校には、義務教育学校（前期課程及び後期課程）を含みます。

令和7年度の主な事業

〇家庭教育推進事業

3 青少年の健全育成

未来を担う青少年が、心身ともに健やかに成長し、社会の一員としての人間性や社会性を身につけることができるよう、様々な体験活動や交流活動、ボランティア活動を推進するとともに、安全で健やかな成長に向けた体制づくりに努めます。

【青少年健全育成の推進】

(1) 未来をつくる青少年が心の豊かさ、創造性や社会性等を養い、時代の変化に的確に対応できる人間として育つよう、教育環境の整備に努めます。

(2) 青少年の自己肯定感や社会性の育成等に資する体験活動を育むための多様な体験活動の充実に努めます。

(3) ボランティアリーダーの活動を通して、青少年のリーダーを育成するため、名寄市子ども会育成連合会など関連組織と連携し、指導者の育成に努めるとともにリーダー育成事業に取り組みます。

(4) 単位子ども会の活動が困難になっている地域の子どもたちが参加交流できる事業や自然を活かした体験活動を推進するとともに、教育委員会と子ども会育成連合会との共催による事業を実施し、学校外での活動の推進に努めます。

(5) 地域の状況に応じながら子どもたちに地域での活動への参加を促すとともに、関係団体と連携することにより、スポーツ・文化・レクリエーション事業への参加機会の拡充に努めます。

(6) 生活環境の異なる大都市の子どもたちとの体験交流や異文化交流等の相互交流を実施し、豊かな感性と新たな友達づくりや地域間交流の醸成に努めます。

(7) 小さな自然観察クラブについては、地域の豊かな自然を活用した様々な体験活動を通して、郷土愛と環境意識の育成に努めます。

(8) 二十歳を祝う会については、二十歳を迎える方等で構成する実行委員会を中心に企画運営を行い、趣向を凝らした内容で開催します。

(9) 地域や各学校、関係機関等と連携を図り、青少年センターを中心に青少年の問題行動の未然防止や安全確保に努めます。

(10) 不審者対策や犯罪のない地域づくりのために、市内の巡視活動を行い、青少年が安全安心に学び、遊び、集える環境づくりに努めます。

令和7年度の主な事業

〇わくわく！体験交流会　〇都会っ子との体験交流事業

〇小さな自然観察クラブ　〇二十歳を祝う会　〇青少年問題等対策事業

【子育て支援の推進】

(1) 児童センター及び風連児童会館については、自由来館型の施設として、遊び、スポーツ、各種行事及び体験活動を通して児童の健全育成を図ります。

(2) 放課後児童クラブについては、放課後における児童の安全安心な居場所を提供し、保護者の仕事と子育ての両立の支援を行います。また、民間の学童保育所に対しては、環境整備や運営に対し必要な支援を行います。さらに、民間も含めた市内の児童クラブにおいて、１人１台端末を利用した学習ができるよう Wi-Fi を整備します。

(3) 放課後子ども教室については、小学４年生から小学６年生までを対象に、勉強やスポーツ・文化活動、地域との交流活動等を通して、児童の自ら学ぶ姿勢を高め、学習習慣の定着を図ります。

(4) 児童センターの老朽化に伴い、施設の整備について検討します。

(5) 図書館については、親子が絵本の読み聞かせを通して、お互いにふれ合い、絆を深めてもらう機会を作るため、ブックスタート事業に取り組みます。

令和7年度の主な事業

〇放課後児童クラブ事業　　〇放課後子ども教室事業

〇ブックスタート事業　　〇児童クラブ Wi-Fi 設置事業

4 地域文化の継承と創造

市民が想像力にあふれ、豊かな人生を送ることができるよう、文化施設の整備や指導者の育成など文化振興のための基盤整備を進め、拠点施設を中心に、文化に触れる機会の充実を図り、文化の創造と団体の育成に努めます。

【文化芸術の振興】

(1) 名寄市文化芸術振興条例及び名寄市文化芸術の振興に関する基本方針に基づき、文化芸術の振興と継承を図り、市民個人や団体による主体的、創造的な文化活動を推進します。

(2) 地域の文化芸術活動の担い手である団体・グループ等の活動に対する支援を行うとともに、文化団体等の育成に努めます。

(3) 市民文化センター大ホールＥＮ－ＲＡＹ及びふうれん地域交流センターを核とした鑑賞事業を実施し、文化芸術活動の活性化を図ります。

(4) 市民文化センター及びふうれん地域交流センターが市民のコミュニティ醸成の場としてより親しまれる環境となるよう努めます。

(5) 学校と連携したアウトリーチ(※)等を推進し、多くの市民が文化芸術に触れられる機会の提供に努めます。

(6) 優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、文化芸術鑑賞バスツアーを実施します。

(7) 文化に親しむ講座の開設や新しい文化芸術サークルの開設の奨励等、文化芸術活動の活性化や発表の場の一層の充実に努めます。

(8) 市民が日頃の文化活動の成果を発表する文化祭を実施します。

(9) 大ホールＥＮ－ＲＡＹについては、本年５月に開館から 10 年を迎えるため、記念事業を実施します。

※用語解説

【アウトリーチ】

公的機関、公共的文化施設などが行う、地域への出張サービス

令和7年度の主な事業

〇文化芸術アドバイザー設置　〇文化芸術振興助成金

〇市民文化祭、風連文化祭　〇市民盆踊り大会

〇ＥＮ－ＲＡＹホール開館 10 周年記念事業

【歴史や文化財の継承】

(1) 地域の歴史、文化に関する資料や文献、文書の収集と整理保存を行い、収集した資料を活用した展示会や講座の開催などにより、地域を知る機会を提供し普及啓発に努めます。

(2) 地域の宝として有形、無形の文化財や史跡、史料を保存するとともに、ブックレットなどによる啓発や指定文化財の保護活動、伝承活動の支援に努めます。

(3) 郷土の発展に大きく貢献し、全国的に活躍した名寄ゆかりの人物について、その功績や生き方を後世に伝えていくため、社会教育施設で連携を図りながら、研究と普及活動に努めます。

(4) ＳＬ排雪列車キマロキ編成が展示保存 50 年を迎えるため、キマロキ保存会と連携して記念事業を実施します。

令和7年度の主な事業

〇各種講演会・講座・展示会運営事業　〇文化財保護事業

〇キマロキ展示保存 50 年記念事業